

The 5th International Discussion Meeting on Glass Transition - Keep going Tohoku -

2012年2月27日—3月1日
東北大学片平キャンパス

平成24年2月27日から3月1日にわたり、The 5th International Discussion Meeting on the Glass Transition (略称DMGT2012)が東北大学片平キャンパスにて東北大学グローバルCOEの主催のもと開催されました。

本ワークショップの主なテーマは下記の通りです。

- (1) ガラス転移
- (2) 複雑流体
- (3) 生体分子
- (4) 境界領域

本ワークショップはガラス転移に関する国際会議シリーズの1つであり、主な目的は、ガラス転移を研究する国際的機関より実験、理論および計算機の科学者が一同に会し、最近の研究成果の議論の場を提供することです。海外9カ国から17名および日本国内から34名が参加し、内23名が招待講演(K. Ngai先生、P. Harrowell先生、A. Meyer先生他)、3名が口頭発表、19名がポスター発表を行いました。

本ワークショップは、東北地方の一刻も早い復興を願い開催されました。2011年3月11日の震災直後、沢山の外国人訪問者が日本を離れた事は非常に残念な事でしたが、本ワークショップを通し外国人研究者へ復興の兆しを示す良い機会になったと思います。

本ワークショップは、各国の研究者との関係をより広め又深める事において多大の成功を収めました。我々は、若手研究者の育成及び指導者間の友好関係を築く本ワークショップを毎年開催出来ると確信しています。



